

輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	災害支援くしろネットワーク
事業名	災害支援ボランティアの派遣
課題テーマ	防災知識を持った人材の育成(地域を担う人材育成)
事業提案の背景	東日本大震災と同じような地震、津波災害が発生することを否定できない釧路地域で、復興関連の知識を持った人材を育てることが必要であること。
事業目的	災害復旧経験のある人材の育成
事業概要	釧路市発着のボランティア隊を募集し、現地の災害復旧作業を行うとともに、災害復旧組織および被災地の実情を学ぶ。募集については、学生を中心とした新規参加者を優先したい。
事業展開	釧路地域からのボランティア隊を継続することは、被災地の復興の一助となることはもとより、この釧路地域に被災地の現状や復興事業の様子、ボランティアの受入れ方法やそれらの問題点などに精通する人材を育成していくことができると考える。将来、災害の被災地となることを否定できない中、このような人材を生み出し続けることができるのは、こういった体験型事業である。これからも資金が続く限り継続を続ける決意である。
成果目標の達成状況	当初予定のスケジュールが荒天により中止となったため、常総市の水害復興ボランティア、及び南相馬のボランティア調査をおこなった。学生を含め、新たな災害現場(水害・原発)を体験し様々な知識を習得した。
波及効果の達成状況	こども未来塾、新聞の取材、エフエム釧路番組、釧路北ロータリークラブの例会講師などを通じてボランティア体験の情報を発信し、防災に対する普及啓発を行っている。
実施体制	組織内より、引率メンバーや車両の提供があり。
連携した市担当課	学校教育部総務課
連携した市担当課が果たすべき役割	災害支援を経験した学生の体験談などを、学校教育部総務課が中心となって様々な形で子ども達や教育関係者にフィードバックする事によって子ども達の防災意識の向上を図る。

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	600,000	
自主財源	298,495	
合 計	898,495	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
交通費・旅費・宿泊費	765,042	ガソリン代、JR代、飛行機代、宿泊代他
小 計	765,042	
対象外経費		
役務費	50,147	キャンセル料、保険料、振込み手数料
消耗品費	25,363	印刷代他
負担金	10,000	会費
使用料	47,943	駐車場代、レンタカー代
小 計	133,453	
合 計	898,495	